

東京国際映画祭 TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2015

**国際交流基金アジアセンターpresents
「CROSSCUT ASIA#02 熱風！フィリピン」
全作品ラインナップ&来場ゲスト決定！**

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)アジアセンターでは、10月22日(木)に開幕する第28回東京国際映画祭(Tokyo International Film Festival:以下、TIFF)にて、昨年度よりコラボレーション企画として開始した特集シリーズ「国際交流基金アジアセンターpresents CROSSCUT ASIA」の第2弾として、フィリピン映画を大特集します。

アジア有数の映画大国であり、今、インディペンデント映画が熱いフィリピン。フィリピン出身の監督たちは相次いで国際映画祭で受賞し、2005年に監督デビューしたブリランテ・メンドーサ監督は瞬間にベルリン、カンヌ、ヴェネツィアで受賞する快挙を成し遂げました。今回、そのブリランテ・メンドーサ氏も来日し、特集上映「ブリランテ・メンドーサの世界」を開催。また、会期中はフィリピンの若手監督たちによるシンポジウムやQ&Aなども実施します。昨年以上に盛り上がりが見込まれる「CROSSCUT ASIA#02 熱風！フィリピン」をぜひご覧ください。つきましては、是非貴媒体にて本情報をご紹介頂けますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



『罨(わな) ～被災地に生きる』



『お里帰り』
© Kidlat Tahimik



『キッド・クラブ～少年パッキャオ』
© TEN17P & ABS-CBN Film Productions Inc.

■ **特集タイトル： 国際交流基金アジアセンターpresents**

「CROSSCUT ASIA #02 熱風！フィリピン」

- **概要：** アジアの国、監督、俳優、テーマなどに焦点を当て、アジア映画の特集上映を行う「CROSSCUT ASIA」(クロスカット・アジア)は、2014年、TIFFの一部門として新設立された部門。アジアの現在(いま)を鋭く切り取った珠玉の映画を紹介していきます。昨年大好評だったタイ映画特集に続き、第2弾は豊かな映画史を誇るとともに、「第3期黄金時代」に突入したと世界的に評されるフィリピン映画を特集します。本年度の上映作品の詳細につきましては、順次ウェブサイト等でお知らせします。

第28回東京国際映画祭 開催概要

【開催期間】 2015年10月22日(木)～10月31日(土)

【会場】 六本木ヒルズ(港区)、新宿バルト9、新宿ピカデリー、TOHOシネマズ 新宿他

【オフィシャルウェブサイト】 <http://www.tiff-jp.net>

【チケット発売】 10月10日(土)より ticket boardにて発売開始！

※画像等 各種素材はイメージネットにて配信しております。(<http://www.image.net>)

●東京国際映画祭に関するお問い合わせ：

東宝アド (03-3519-3623) / プリマステラ 貝塚千恵 (090-9418-1101) / エレクトロ 89 佐藤、寺沢、小沢 (03-6279-9696)

東京国際映画祭事務局 プロモーショングループ Tel: 03-3553-4793

●国際交流基金に関するお問い合わせ： 国際交流基金 アジアセンター (村田、掛谷) Tel: 03-5369-6025

コミュニケーションセンター(川久保、森) Tel: 03-5369-6089 / E-mail: press@jpf.go.jp

国際交流基金アジアセンター presents

No. 2015-028 P2/P4

CROSSCUT ASIA ラインナップ一覧 #02 熱風！フィリピン

来日情報は 10 月 6 日現在の予定です。変更の場合もございますのでご了承ください。



© Kidlat Tahimik

お里帰り (2015)

監督：キドラット・タヒミック

キャスト：キドラット・タヒミック、ジョージ・スタインバーグ

マゼランの世界周航に同行したマラッカ出身の奴隷エンリケ。16 世紀に実在した人物を主人公とする、世界史の画期的読み直しドキュドキュドラマ！ 構想から 30 年余りを経てついに完成。ベルリン映画祭 2015 カリガリ賞受賞作。アジア・インディーズの父、タヒミックが 28 年ぶりに TIFFF にやってくる！

来日ゲスト：キドラット・タヒミック（監督・主演）



©Solar Entertainment Corporation and Center Stage Productions

バロットの大地 (2015)

★国際ナショナル・プレミア

監督：ポール・サンタ・アナ

キャスト：ロココ・ナシノ、ロニー・クイゾン、ヴィンセント・マグバヌア

亡父の遺言で広大なアヒル農場を相続することになった息子。家を出て都会でミュージシャン暮らしの彼は売却するつもりで農場を訪れるが、雄大な風景の中で心が揺れはじめる。タイトルの「バロット」とは、孵化しかけたアヒルの卵を茹でて食べるフィリピンのソウルフード。

来日ゲスト：ポール・サンタ・アナ（監督/脚本）、ロココ・ナシノ（主演）



©Solar Entertainment Corporation and Center Stage Productions

インビジブル (2015)

監督：ローレンス・ファバルド

キャスト：アレーン・ディゾン、セス・ケサダ、ベルナルド・ベルナルド

真冬の福岡と旭川でロケを敢行し、日本滞在の 4 人のフィリピン人（日本人と結婚したリンダ、不法滞在労働者のベンジー、ホストのマニエル、建設作業員のロデル）を描いた話題作。シナグ・マニラ映画祭 2015 グランプリ。

来日ゲスト：ローレンス・ファバルド（監督/脚本/原案/編集）、クリスマ・マックラン・ファバルド（製作）、ヘレリン・アレグレ（脚本/原案）



© TEN17P & ABS-CBN Film Productions Inc.

キッド・クラブ～少年パッキャオ (2015)

監督：ポール・ソリアーノ

キャスト：ブーボーイ・ヴィリャー、アレサンドラ・デ・ローシ、セーサル・モンタノ

今年 5 月にボクシング世界ウェルター級タイトルマッチ、“世紀の対決”で王者メイウェザーと闘ったフィリピンの英雄、マニー・パッキャオの少年時代を描く大ヒット作。貧しさから拳ひとつで這い上がる主人公の明日はどっちだ！

来日ゲスト：ポール・ソリアーノ（監督/エグゼクティブ・プロデューサー）、ブーボーイ・ヴィリャー（主演）、マリー・ピネダ（製作）、マーク・ヴィクトル（編集）



<ディスカバー 亜州電影>

奇跡の女 [デジタル・リストア版] (1982)

監督：イシュマエル・ベルナル

キャスト：ノラ・オーノール、スパンキ・マニカン、ジジ・ドエンヤス

80年代黄金期を代表するベルナル監督の傑作がデジタル・リストア版で鮮烈によみがえる！ 平凡な女性が突然超能力をもつ霊能者（ヒーラー）になったとの噂に、群衆が押し寄せて村は大混乱に…。『汝が子宮』『罘』のノラ・オーノール主演。（アセアン映画週間1988で日本初上映）

特集上映「ブリランテ・メンドーサの世界」

ブリランテ・メンドーサ (フィリピン)

1960年、フィリピン出身。2005年、インディペンデント映画プロダクション「センター・ステージ・プロダクションズ」を設立。同年の監督デビュー作『Masahista (The Masseur)』でロカルノ国際映画祭ビデオ部門金豹賞を受賞。2007年に『Tirador (Slingshot)』でベルリン国際映画祭カリガリ賞を受賞。2009年、『キナタイ マニラ・アンダーグラウンド』でカンヌ国際映画祭監督賞を受賞。2012年、『汝が子宮』でヴェネチア国際映画祭 La Navicella Venezia Cinema Awardを受賞。最新作『罘(わな)～被災地に生きる』は、第68回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門に出品された。



罘(わな) ～被災地に生きる (2015)

監督：ブリランテ・メンドーサ

キャスト：ノラ・オーノール、リオ・ディアス、エロン・リヴェラ

2013年11月、巨大台風ヨランダがフィリピンを直撃して大災害をもたらした。被災地に生きる人々に寄り添い、人間の尊厳を問うメンドーサの最新作。ノラ・オーノール主演。カンヌ国際映画祭2015「ある視点」部門スペシャル・メンション。

来日ゲスト：ブリランテ・メンドーサ（監督）、ロレト F. カステイロ（製作）、エロン・リヴェラ（俳優）



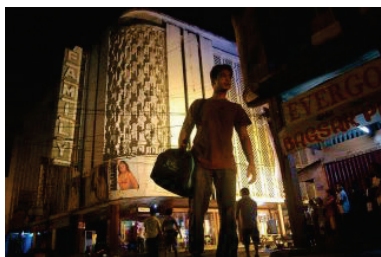
©Seiko Films

フォスター・チャイルド (2007)

キャスト：チェリー・パイ・ピカチェ、ユージン・ドミンゴ、ジロ・マニオ

貧しいながらも里子を預かるテルマの一家。アメリカ人の里親が見つかり、別れの日の道行き。カメラはテルマの切なさを映し出す。メンドーサ・スタイルが確立された重要作。カンヌ国際映画祭2007監督週間出品。

来日ゲスト：ブリランテ・メンドーサ（監督）、ユージン・ドミンゴ（主演）



サービス (2008)

監督：ブリランテ・メンドーサ

キャスト：ジナ・パレーニョ、ジャクリン・ホセ、リオ・ディアス

ポルノ映画館を経営する一家を中心に、館内を“ハッテン場”として利用するゲイたち、暗がり盗みをはたらく泥棒など、都市の闇に生きるアウトロー群像を描く。カンヌ映画祭2008コンペ出品。

来日ゲスト：ブリランテ・メンドーサ（監督）、ジェセラ・リサルド（共同製作）



©The Match Factory

グランドマザー (2009)

監督：プリランテ・メンドーサ

キャスト：アニタ・リンダ、ルスティカ・カルピオ、タニヤ・ゴメス

殺人事件の加害者の祖母と被害者の祖母。ふたりの老女を並行して描き、庶民の生きざまをリアルに描き出す。ヴェネチア国際映画祭 2009 コンペ出品。(アジアフォーカス・福岡国際映画祭 2010 にて『ばあさん』のタイトルで日本初上映)

来日ゲスト：プリランテ・メンドーサ (監督)、ウイルソン・ティエン (配給/製作)



©CENTER STAGE PRODUCTIONS CO.

汝が子宮 (2012)

キャスト：ノラ・オーノール、ベンボル・ロコ、ロヴィ・ポー

子宝に恵まれない漁師の夫婦が、代理母を探して子どもを産んでもらおうとするが…。ノラ・オーノール (『奇跡の女』) とベンボル・ロコ (『マニラ・光る爪』) というフィリピン映画の“レジェンド”が共演。ヴェネチア国際映画祭 2012 La Navicella Venezia Cinema Award 受賞。

来日ゲスト：プリランテ・メンドーサ (監督)、ルビー・ルイス (女優)、ヘンリー・ブルゴス (脚本)

★10/26(月)「第三黄金期」とは何か？フィリピンの若手映画監督が語るシンポジウム開催！

フィリピンに沸き立つ“メインディーズ”、フィリピンの映画事情について語ります。(詳しくは映画祭公式サイトへ)

★来場者に「CROSSCUT ASIA#02」特別ブックレット(非売品)を配布！

昨年に続き、今年は「CROSSCUT ASIA#02 熱風！フィリピン」特集ブックレットが完成。学生時代、フィリピン映画研究をしていた中田秀夫監督(『リング』)と石坂健治プログラミング・ディレクターの30年ぶりの再会対談や、辛酸なめ子さんのフィリピン滞在記など、フィリピンの魅力が詰まった限定ブックレットを映画祭来場者に配布します。

【国際交流基金アジアセンター】 <http://www.ifac.jp>

国際交流基金アジアセンターは、アジア域内に住む人々の間に、共に生きる隣人としての共感、共生の意識を育んでいくことを目指し、文化事業、知的交流事業、日本語教育事業をはじめとした幅広い分野で、日本とアジア諸国との交流と協働を促進、強化するさまざまな活動を行っています。東南アジア地域を主な対象とする交流事業や調査・研究活動などを支援する助成プログラムも実施しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

【東京国際映画祭(Tokyo International Film Festival, TIFF)】 <http://2015.tiff-jp.net/ja/>

28回を迎える東京国際映画祭(以下、TIFF)は日本で唯一の国際映画製作者連盟(注1)公認の国際映画祭です。1985年、日本ではじめて大規模な映画の祭典として誕生した TIFF は、日本及びアジアの映画産業、文化振興に大きな足跡を残し、アジア最大級の国際映画祭へと成長しました。いまや最も熱気溢れるアジア映画の最大の拠点である東京に、世界中から優れた映画が集まり、国内外の映画人、映画ファンが新たな才能とその感動に出会い、交流する場を提供します。

(注1)国際映画製作者連盟:世界の映画産業、国際映画祭の諸問題を改善、検討する国際機関。パリに本部を置き、世界29カ国(2015年5月現在)が加盟している。

<プレスパスのご案内>

東京国際映画祭のご取材には、必ずプレスパス登録が必要となります。本年取材を希望する方で、未登録の方は、至急、東京国際映画祭プロモーショングループ(03-3553-4793)までご連絡をよろしくお願い致します。